

## 秦野市総合防災訓練で自衛隊の活動を紹介

自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 兒玉憲幸1等陸尉）は、8月31日（日）、秦野市立北小学校で実施された「秦野市総合防災訓練」に参加し、自衛隊ブースを出展した。

会場では、災害派遣に関するパネル展示や自衛隊の携行食（戦闘糧食）の紹介、制度説明などを通じて、災害時における自衛隊の役割や活動を来場者に紹介した。

災害派遣パネル展示には、子供から高齢者まで幅広い世代が集まり、自衛隊の活動への関心の高さがうかがえた。来場者からは「普段は触れることのない装備や車両を体験できて貴重だった」「実際の災害時に、自衛隊がどのように行動するのか知り安心した」といった声が多く寄せられた。

さらに、陸上自衛隊座間駐屯地に所在する第4施設群からは、1/2トトラックを災害派遣車両として展示し、普段近所で見る機会の少ない装備品に多くの来場者が足を止めた。また、バケットローダーを使用した障害物除去の実演では、重機の迫力とともに、迅速かつ力強い災害対応を披露した。

平塚地域事務所は「今回の防災訓練を通じて、地域の防災意識向上と自衛隊の活動への理解を深めるとともに、今後も地域との連携を一層強めていきたい」としている。

